

第 1 回 桑名市行政改革推進委員会 会議概要

日時・場所	平成 27 年 5 月 28 日（金） 13：30 ～ 15：45 桑名市役所本庁舎 3 階 第 2 会議室
出席者	委員：7 名 市：3 名 事務局：12 名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 あいさつ 2 委員自己紹介 3 議題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 委員長及び副委員長の互選について 【資料①】 (2) 第 4 次行政改革大綱の実施計画について 【資料②・③】 4 その他
概 要 (主な意見)	<ol style="list-style-type: none"> 2 議題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 委員長及び副委員長の互選について <ul style="list-style-type: none"> ・委員長に丸山康人委員、副委員長に吉島隆子委員が選任。 (2) 第 4 次行政改革大綱の実施計画について <ul style="list-style-type: none"> 【ヒト：全員参加型市政に向けた組織力と職員力の向上】 <ul style="list-style-type: none"> ・人事評価の部分では、モチベーションを上げる策として、インセンティブを与えるべきだと思う。 ・専門性を持った職員が必要だと思う。「専門性＝外部の人間」をイメージしているのか。どうして重点項目が「人事評価」なのかが疑問である。 ・公務員は「休まず、遅れず、働かず」と揶揄されるが、職員の意識改革が行政改革大綱に改めて表記しないとできないものなのか。 【モノ：資産の有効活用】 <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、人口推移や人口予測を考えて施設整備・運営をしていく必要がある。桑名市は人口を維持していきたいのか、「市の成長」についてどう考えているのかを聞きたい。 ・公有資産において、10 年間で 61%の延べ床面積削減を目指すという自治体もある。 ・「モノ」の部分で、公共施設等総合管理計画の目標値が「今後 50 年間で 33%削減」となっているのはすぐわないと思う。年率に直すと 0.6% となり、変化が分からない。成果が見えないと評価もされないのではないか。せめて 3～5 年間で指標を出すべきだと思う。

【カネ：効率的・安定的な財政経営】

- ・今年度は、総合医療センターの建設費上乘せにより、大幅な支出増になると聞いた。予算は歳出ベースで考えるのではなく、歳入ベースで考える制度、仕組みにしてほしい。単年度だと予算額の妥当性が検証できないので、早く公会計を導入する必要がある。市民へ説明するときは、歳入の範囲内で歳出を賄うつもりで言えるようにしてもらいたい。
- ・総合医療センターの建設費を市債で賄っていいのか。今後、どういう形で市として医療センターに関わるのかを考える必要がある。
- ・補助金の一律カットをしたときは、議会から反発があったと聞いた。決定する前に、議会・市民を巻き込んでもっと議論してもらいたい。
- ・総合医療センターは、中身をチェックしたうえで建設するならいい。きちんと議論したうえで起債しているのか。また悪い例にならないか心配である。態勢ややり方を工夫してもらいたい。

【公民連携】

- ・「公民連携」といっても、予算にそこまで大きな影響は与えないと思う。メディアライヴの管理費を一般会計から支出していると聞いた。市でお金を払っているとは思わなかった。収支状況を示すなど、情報開示の仕方を考えてもらいたい。
- ・公民連携が成功するか失敗するかは、やり方の問題である。民間に考えさせるなら、もうかるものでなければいけない。「公民連携」を行っていくうえでは、職員が市の役に立ちたいと思っているのか、意識改革が必要である。メディアライヴは、私の知るPFI事業の中では課題があるものだと思っている。その課題を踏まえて、これからのPFI事業を検討してもらいたい。また、指定管理者制度は民間に自由を与えない委託方法である。「公民連携」は必ずもうかる、もうからなければやらない。
- ・上下水道の運営権では、熊本県荒尾市が包括的に民間委託しようとしている。繰入金で10年間で半分にして民間に移管する方向である。このように、「公民連携」をするには職員が真剣に考えることが必要である。
- ・「財政健全化＝歳出削減しかない」と言われてしまうと愕然とする。今回、具体的な策を示してもらって感心した。桑名の魅力を高め、観光等の幅も広げてもらいたい。整備にお金がかかっても、歳入として返ってくるなら嬉しいはず。先進地の事例を見習うのもいいが、桑名らしいアイデアを募って、具体的な施策につながることを期待している。
- ・欠席の田中委員より、「行政改革大綱の実施計画に『土地』の視点を入れてもらいたい。重点項目として、『土地利用規制の見直し』『土地の専門知識を持った職員の配置』を追加してもらいたい」という意見をいただいた。

	<p>【全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金がない中では、集中させる地区、過疎化させる地区と分けることも必要である。少子高齢化とはいえ、少子化対策、高齢者施策と、あれもこれもできない。一世帯に子どもが3人生まれれば、絶対高齢化はしない。市の方向性を検討してもらいたい。 ・実施計画シートの中で「効果額」とあるが、効果額が出せない取り組みもあり、理論的にはまだ確立されていないと思う。どのように管理していくつもりなのか。 ・以前参加した「市長どこでもトーク」のようなパネリスト形式ではなく、ワークショップ形式にするなど、合意形成の仕組みを考えてもらいたい。時間をかけてもいいので、斬新なやり方をお願いしたい。 ・職員一人ひとりが「市のためにお金を稼ぐ」という意識を持つことが大切である。 ・重点項目はこのままやっていくということでしょうか。 ⇒異議なし <p>3. その他</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
<p>担 当 課</p>	<p>市長公室 政策経営課</p>